



paditch で変わる、スマート農業の“カタチ”

パディッチ

「データ収集」と「水管理の遠隔操作」から始める、新たな水田管理サービス

We suggest a new innovative solution!!!



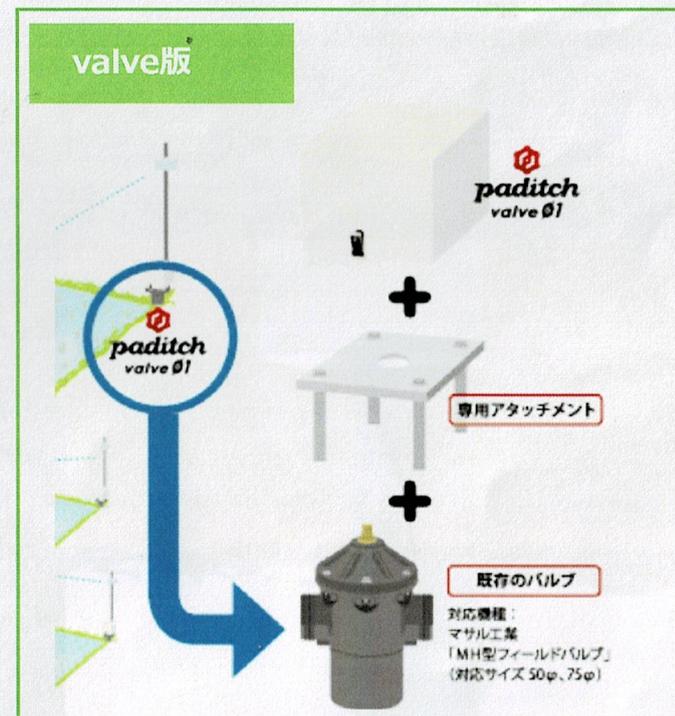
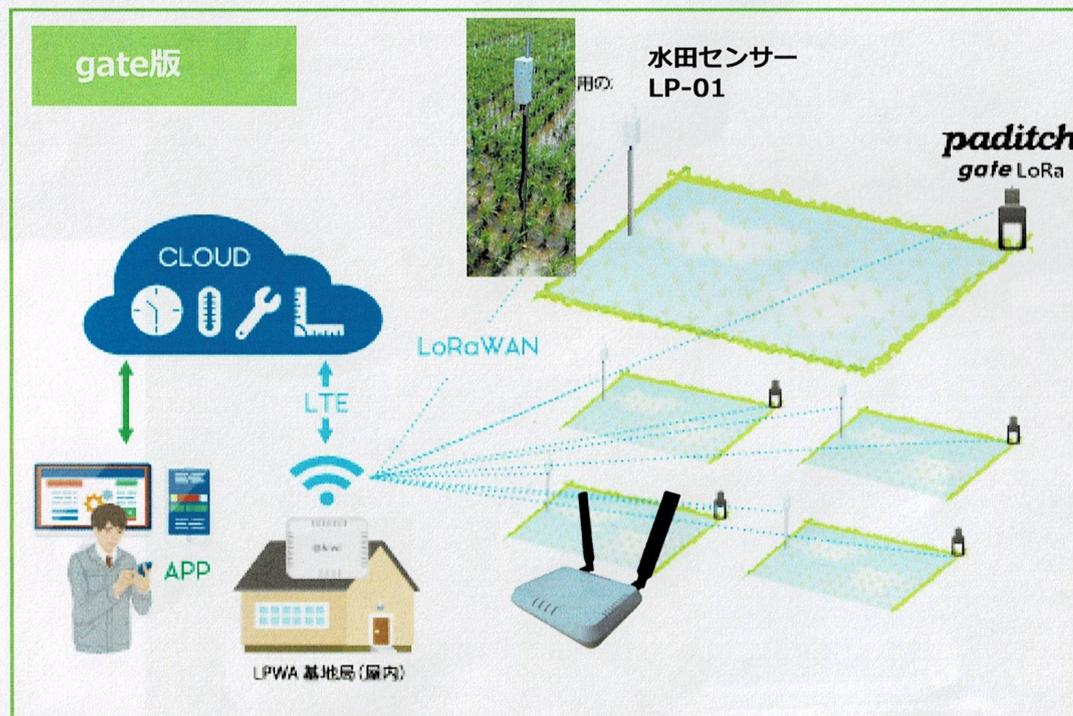
改訂日：2022年11月8日

LoRaWAN通信概要

LoRaWANによる水田管理システム全体像

水田センサー、基地局、アプリをセットでご提供します

paditch gate02+ LoRaWAN、paditch valve01 は LoRa通信のメリットである親機(GW)と子機(センサー、gate、valve、drain) 間の通信費用が一切かからないという点、複数のデバイスを同時導入することによる水管理効率の向上効果をより強く実感していただけます。



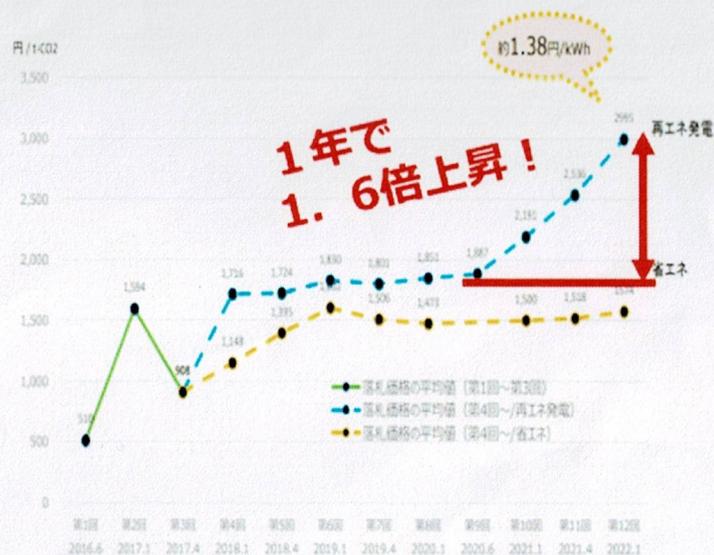
水田の水管理により削減したメタンガスはその量に応じてクレジット化し、売却することができます。当該クレジットの落札価格は急激に上昇しており、RE100企業の増加等により、今後もこの傾向は続く予測しています。

<J-クレジットのしくみ>



出展元・J-クレジット制度

<J-クレジット価格の推移>



温室効果ガス削減の経済効果

現在 3,500円/ha/年
将来 5,000円/ha/年超

※弊社試算及び予測